

健康を願う市民を支援する、仁愛と奉仕の心を込めた最善の医療を

熊本市立 熊本市民病院

OPEN!

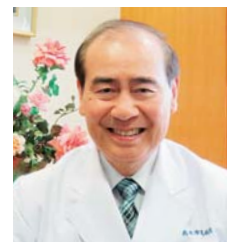
2019.OCTOBER
New Hospital
Diagnosis START!



2019年10月、新しい市民病院となって 熊本の更なる医療の充実に貢献します。

当院はこれまで周産期医療、救急医療、感染症医療などの重要な政策医療を担いながら、様々な分野の高度急性期医療を提供し、地域医療に貢献する基幹病院・公立病院としてその役割を担って参りました。2016年4月の震度7を2回も記録した『熊本地震』で当院の建物は甚大な被害を受けました。現在、管理棟(新館)において27の診療科で外来診療を行っております。入院におきましては新生児病棟14床(NICU9床、GCU5床)、一般病棟10床を運用しており、耳鼻咽喉科、眼科、歯科口腔外科、泌尿器科などで手術もおこなっています。ただ依然として本来の病院機能が充分果たせないため、臨床研修医の研修受け入れができない状況です。

現在、新病院は東区東町(陸上自衛隊健軍駐屯地横)で建設中です。2018年2月に工事を開始しており、順調に進んでおります。2019年6月末に新病院は竣工し、10月1日に開院、7日に診療開始の予定です。新病院では、診療科は31科、病床数は388床(一般病床380床、感染症病床8床)となります。救急症例も多く、また多くの診療科の研修が行えるのが当院の特徴です。新病院では『女性と子どもにやさしい病院』をめざします。当院の役割として、母と子の命を守る周産期医療の充実、市民の安心安全を24時間確保する二次救急医療体制、地域の医療機関と連携を強化し生活習慣病やがんなどに対する質の高い急性期医療の提供、災害に即応できる体制や感染症医療などの政策医療などに取り組んでいきます。新病院は免震構造で地上7階建て、屋上にヘリポートを配置し、ライフラインも多重化し災害に強い病院となります。更に医療機器も今回整備され充実した内容となります。2020年4月から新病院において臨床研修医の皆さんを受け入れる予定です。充実した研修をしていただけるよう、効果的な施設の配置も行っておりますので、新市民病院の研修に是非応募していただきますようお願いいたします。



熊本市民病院 院長

高田 明
Akira Takada

病院概要(新病院)

2019年10月1日(火)開院、10月7日(月)診療開始の予定です。

標榜科

- 【外科系部門】
消化器外科、乳腺・内分泌外科、呼吸器外科、婦人科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科
- 【小児・周産期医療部門】
新生児内科、小児科、小児循環器内科、小児心臓外科、小児外科、産科
- 【内科系部門】
脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液・腫瘍内科、腎臓内科、代謝内科、感染症内科、精神科
- 【中央新病部門】
放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科

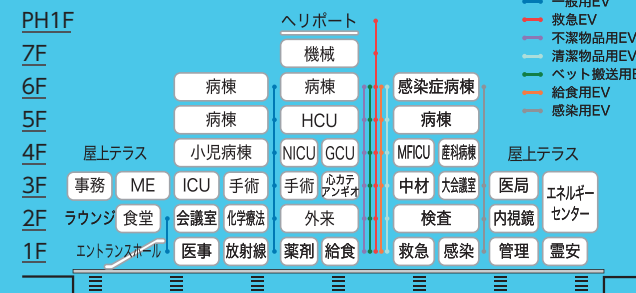


※図面・パースは全て、2月現在のイメージです。今後変更の可能性がございます。

※平成28年熊本地震の被災により、現在、認定・指定の取り消しや一部診療科の休診を行っております。

震災復興のシンボルとして、熊本市東区東町に
2019年10月に移転します。

階層構成



研修医募集について

市民病院での臨床研修医の採用は
2020年4月からの開始になります

●指導医からのコメント

熊本地震から3年半。2019年10月7日より全診療科が新病院で診療を開始します。九州の周産期医療と熊本の地域医療を支える急性期病院として、第一種感染症医療機関として、責務を果たします。皆さんをお待ちしています。2019年9月までは現病院で規模を縮小した診療と準備を行います。2020年採用の方は、2019年8月に現病院で採用試験を実施します。



熊本市民病院
首席診療部長
横山 幸生
Sachie Yokoyama

所在地 〒862-8505 熊本市東区湖東1丁目1番60号
担当部署 事務局/総務課/人事班
TEL 096-365-1711 (代表)内線3654
FAX 096-365-1712
E-mail shiminbyouinsoumu@city.kumamoto.lg.jp
URL www.cityhosp-kumamoto.jp

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
www.cityhosp-kumamoto.jp

